

WE LOVE しもやま



三河湖で「ワカサギ」が釣れることを知っていましたか？

令和5年度わくわく事業団体「三河湖の自然と環境を考える会」が、下山地区の産業振興を通じた地域づくりのために、三河湖にワカサギなどの稚魚を放流する事業を行っています。

今回は、どうやってワカサギが三河湖で釣れるようになったかなどを団体に取材してみました。



▲手づくりしたふ化装置

Q. どうやってワカサギが釣れるようになったのですか？

A. ワカサギの卵を、北海道の西網走や長野県の諏訪湖の漁業組合から購入します。その後、卵は団体が試行錯誤して作ったふ化装置で2週間かけてふ化させます。卵は適切な管理が必要なので、この2週間は毎日数時間かけて水質管理や消毒を行う必要があり、気が抜けません。その後、ふ化した稚魚を三河湖へ放流しました。

Q. 三河湖ではどんな魚が釣れますか？

A. 放流して育った15cmを超える三河湖のデカイワカサギ「デカサギ」のほかにも、2月からはイワナやアマゴなど1年を通して色々な魚が釣れます。ワカサギは、多い人だと100匹以上釣る方もいらっしゃいます。道具は有料でレンタルもできるので、初めての方も気軽にお越しください。



▲栈橋でワカサギを釣る様子



▲団体代表の川合さん

Q. 今後の活動について教えてください。

A. 私たちは放流の他にも、釣り客の皆さんなどと定期的に三河湖の清掃活動を行っています。今年開催したデカサギダービーなど「デカサギ」をはじめ、三河湖の魅力を多くの方に知ってもらえるイベントなどを企画していきます。

皆さま、ぜひ三河湖へ遊びに来てください。



▲詳しい情報は、
上記ホームページ



▲原寸大の「デカサギ」



下山地域会議による第9次豊田市総合計画に関する答申

下山地域会議は、昨年9月に「第9次豊田市総合計画」について諮問され、1月に答申を行いました。総合計画の諮問は、市内の全28地域会議にて実施されています。同じ諮問内容のため、答申からは、地域性を感じ取ることができます。

ぜひ下山地域会議の答申を市ホームページでご確認ください。

【答申内容の一部抜粋】

- ・下山で暮らし続けるためには、地域資源である共有財産（自然（森林・農地）や空き家、人のつながりなど）を活かしていく必要がある など



▲市ホームページ

【下山地域会議 吉田会長退任メッセージ】

実は私、平成22～25年度に、1度目の地域会議委員を務めていて、今回の令和2～5年度の任期は2度目でした。そして、令和4、5年度と会長も務めさせていただき、今年度末を持って退任します。下山地域会議をいつも応援して下さる皆さま、いつもありがとうございます。

1期目から振り返ると、最初、私は「地域の声を聞こう」と意気込みましたが、私たちが行政の代わりに厳しい意見を言われたり、長い時間をかけて協議したことが地域課題解決の事業につながらず、肩を落とし、これでいいのかと自問自答したこともあります。

そして、期間を開け、2度目の任期を迎えますが、地域会議委員として自身は何ができるのであろうと気が重かったのも正直なところです。いざ任期が始まると、コロナ禍となり、全体での会議もままならず、何とかわくわく事業の審査を行って年が過ぎていきました。しかし、活気のあるわくわく事業の活動を見て明るい気持ちにもなりました。

そして、令和4年度から地域会議の役割が、わくわく事業の審査から諮問答申等の地域課題を考えることになりました。諮問される内容は難しく、時間が無い中でまとめてくれる委員の皆さまには感謝しています。

私は2度目の任期途中に大病を患い、思ったとおりに委員として活動できたかと問われると不完全燃焼な部分もあります。しかし「しよまスマイルプラン」に沿って「オール下山」にて下山の未来のために、残った委員の方々や新しく委員となる方々に任せていけると思うと安心して退任できます。個人的には地域会議は自身を高める学びの場として強くオススメできます。末筆ながら、あなたの自治区の地域会議委員を応援してあげてください。ありがとうございました。



▲吉田会長



▲下山地域会議と太田市長（1月答申時）



▲空き家等について質問する西尾委員



▲公共交通について質問する加藤委員



わくわく団体の紹介 Vol.6 花一・よらまい会

● 花一・よらまい会（代表：加川 政代）

【事業内容】 花山わくわく広場の活用

私たちは、第一避難所でもある広場を、防災拠点と同時に地域内の交流拠点にするべく活動しています。

今年度も防災かまどを使ったポトフ調理などの多世代地域内交流イベントを行いました。今年度は新たな体験ができました。

本誌の8月号で、同じわくわく事業団体である和合町の「地域づくり女性活動隊」が「ピザ窯」を貸し出していることを知り、今回お借りしてイベントで使用させていただきました。

ピザ作りは、子どもからお年寄りまで楽しめるだけでなく、ピザ窯ではピザがすぐ焼けるうえ、カリカリで絶品でした。

また、私たちの整備した、花山わくわく広場にも防災かまどがあります。かまどは、40人前の汁物を作れる大きなかまどが2つです。

イベントなどで使ってみたいという方がいらしたら、遠慮なく花山自治区花沢1組の組長まで一度ご連絡ください。



▲ピザ作り交流会



▲加川代表（写真右）と地域づくり女性活動隊の苺安さん（写真左）



運転免許更新が「予約制」になります

【対象】

令和6年3月19日（火）以降に免許を更新する方で、講習の区分が「優良」、「一般」、「違反」、「初回」のいずれかの方

【予約方法】

インターネット予約：二次元バーコードまたは愛知県警察ホームページから必要事項を入力

電話予約：予約受付ダイヤル（052-680-9777）へ電話

※受付時間 平日午前9時から午後5時まで

【その他】

- ・予約の際は、お手元に「運転免許証」、「免許証更新連絡はがき」をご用意ください。
- ・**令和6年3月18日（月）以前**に免許を更新する方は、予約不要です。
- ・高齢者講習を受講済みの方は、予約なしで更新手続きができます。
- ・詳しくは、免許証更新連絡はがきまたは愛知県警察ホームページをご確認ください。



▲ホームページ

【記事：愛知県足助警察署】

下山の自然あれこれ「⑧羽布町の足軽松」

今回は、羽布町の足軽松について紹介します。

足軽松は、羽布町の山上湖の根池から、尾根沿いの林道を1kmほど下った場所にあるアカマツのことです。現在のマツは3代目で、初代の足軽松は枝ぶりがまことに見事な大木だった、と言われていました。

名前の由来には複数の説があり、昔、甲斐国の武田軍の足軽の一人が長い行軍についていけずに、ここで息絶えてその弔いに松を植えたことを由来とする説、初代のマツの根元には大きな穴があり、ここに石を投げ込むと足の疲れが取れたことを由来とする説などがあります。

筆者が足軽松を訪ねたのは、冬の雨の日でした。ガスがかかり日中なのに薄暗く、なんとなく寂しげな景色の林道沿いに足軽松を見つけました。現在のマツは太さ26cm、高さ15m程度の小ぶりのサイズで、幹はくねくねと曲がりながら上空に伸びています。

根元周辺には初代の足軽松とおぼしき倒木があり、幹が3つに裂け、三方に倒れ込んでいます。その1つは太さが70cm程度もあり、この3つが1本の幹を形成していたとすると、初代のマツはかなりの太い幹の木だったことが想像されます。根元には大量の石が投げ込まれており、足軽松の伝説が、今でも地域に受け継がれていることを教えてくれています。



▲初代の足軽松の倒木？



▲根元に投げ込まれた大量の石



連載コラム「せっつが行く！ Vol.9」

【三河湖観光センター 44年間のありがとう】



下山に勤務し、9か月が経ちました。私の生まれ育った岡山県美星町と似た空気感があり、心地よく過ごせています。そんな筆者が下山に着任後、最初に行った思い出の地「三河湖観光センター」が44年間の歴史



▲真心いっぱいの五平餅

に幕を閉じました。スタッフとして働くお母さんたちが、厨房の奥で真心を込めて作るおいしい五平餅を食べたことを思い出します。営業終了目前の11月末に立ち寄り、ダムカレーと五平餅を昼食に食べ、会計の時に「あと1週間ですね。同僚も必ず来るって言ってましたよ」と声を掛けると「そうだよー。また食べに来てね。お待ちしております」と笑顔でこたえてくださいましたが、その表情からは、寂しさと充実感の両方が入り混じったような不思議な感覚を覚えました。

令和6年11月には、観光センターは三河湖観光の新たな拠点施設として生まれ変わります。ここでどんな未来が生まれ出されていくか楽しみな反面、三河湖の玄関口として多くの人を迎え入れてきた観光センターが人々の記憶から消えていく

寂しさも感じました。



▲閉館を惜しむ人で賑わう様子



▲紅葉をバックに三河湖面に映る観光センター



下山支所で、「森の相談窓口」を開設します



所有している森林でお困りごとはありませんか？

▲適切な管理がなされている森林（イメージ）

たとえば...

- ・ 相続した森林の場所（境界）や状況がわからない
- ・ 森林を手放したい（売りたい、寄付したい）が、どこに相談すればいいかわからない
- ・ 所有している森林の管理を誰かに任せたい
- ・ 所有している森林の間伐をしてほしい
- ・ 宅地や農地などに日が当たらないため、近くの木を切ってほしい
- ・ その他（保安林や治山など）

【とき】

令和6年3月6日（水）午後2時から午後8時

【ところ】

下山支所 2階 大会議室

【相談員】

愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課、森林整備課職員
 豊田森林組合職員
 豊田市役所 森林課、下山支所職員

豊田市・森の総合サイト「Tomori」では、豊田市の森林に関する様々な情報を発信しています。こちらもぜひご覧ください。

予約不要で、どなたでも無料で相談できます！



▲Tomoriはこちら

豊田市 トモリ 検索

今回の「森の相談窓口」は、下山地域会議から豊田市への答申（本紙11月号参照）に基づいて、試行的に実施することになりました。貴重な機会のため、ぜひご活用ください。

下山地区データ



発行情報

編集・発行 豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
 毎月15日発行

お問い合わせ TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
 MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！



【社協下山支所だより】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

まどいの丘包括支援センターってどんなところ？



まどいの丘包括支援センターは、下山地区にお住いの高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように、介護・福祉・保健・医療など様々な相談を受ける総合相談窓口です。

最近足腰が弱ってきた

介護保険を利用したい

もの忘れが増えてきて心配

体調が悪く困っている

近所の一人暮らしの高齢者が心配

虐待にあっているかもしれない

家族に介護が必要になってきたどうしよう

介護の負担が大きい

まずはお気軽にご相談ください



まどいの丘包括支援センター 90-4335

主任ケアマネジャー

保健師

社会福祉士

心配事や困りごとに対して支援方法を一緒に考え必要があれば制度の利用につなげます

介護保険



高齢者等
配食サービス事業



ひとり暮らし
高齢者等登録制度

シルバーカー購入費
助成制度



集いの場の紹介



認知症支援事業



高齢者虐待防止
や通報



この他にも高齢者の方々を支える取り組みがあります。制度の詳細やその他の取り組みについてはお問い合わせください。

【問合せ】まどいの丘包括支援センター ☎90-4335





ロビー展示

令和5年度 出展一覧 (令和5年4月~令和6年1月)



平野 照
イラスト&ねんどパッチ



アトリエエリカ
カルトナーージュ



Licorice
織物



坂巻末治
呼笑庵の杖



ぬくもりはうす*manmo
がま口



グループホーム下山の森
絵・工作



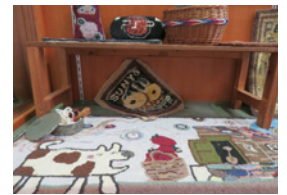
A&M
布小物・編み物



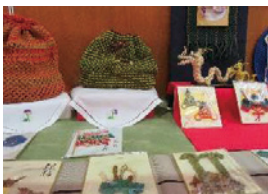
しもやまラリー実行委員会
WRC ラリー



次井みな子
和布小物



小川喜月
フックドラグ



【自主グループ】
手編みサークル
編み物・干支の根付

今後の予定

2月
【自主グループ】
なごみの会
パッチワークキルト

3月
JA あいち豊田
女性部下山支部
クラフトバック等

令和6年度 ロビー展示
交流館にて申込み受付中!

【ガラスケース】2つあります
幅 170 cm 奥行 70 cm 高さ 40 cm
【パネル】180 cm×90 cm

自主グループ活動報告



書架係 (ショッカー) 12/13
図書室掲示板の飾り付け **冬の装いに♪**



下山囲碁・将棋クラブ 新春囲碁大会 1/6
優勝 城殿さん **おめでとうございます!**



結花 (ゆいか) 1/17
まどいの丘にて発表 **元気がもらえました!**

子育てサロン **ぷらす** 申込不要

毎月第3木曜日 10時~14時 開催!

12/21 ごちゃまぜ
くつした



1/18 牛乳パック
で工作



